

An aerial photograph of Shishima Island, showing its rugged, forested terrain and surrounding turquoise waters. A small white boat is visible in the upper left, and a larger white structure, possibly a pier or breakwater, is visible in the lower center. The island's coastline is irregular, with several small bays and peninsulas.

しばやま
柴山
ふるさとガイド

しばやまガイドマップ

Guide Map

わたしたちのしばやまは海と山に囲まれた自然豊かなふるさとです。ふるさとしばやまにはこの地で暮らしてきた祖先が育んできたたくさんの「たからもの」があります。私たちもその「たからもの」をたくさん見つけて未来へ引き継いでいきましょう。

やま かみ うらがみ ほころ
山の神(浦上)の祠

やきやまがわ
焼山川

かわべがわ
神戸川

うらがみ
浦上

うらがみがわ
浦上川

あげがわ
上計川

はなみとうげ
花見峠トンネル 911m

ききょうざん
帰仰山トンネル 279m

しばやまえき
柴山駅

かんのうらやま
神ノ浦山 365.2m

しばやま
柴山トンネル

さことうげ
佐古峠トンネル 1,146m

しばやまかいすいよくじょう
柴山海水浴場

あ げ 計

しばやまこう
柴山港

かすら

たけすら

いくじ

しろとう
白灯

あかとう
赤灯

はな
つるべ鼻

はな
ひじきが鼻

うすがうらいすいよくじょう
白ヶ浦海水浴場

うすがうらしま
白ヶ浦島

す はな
たかの巣の鼻

まち さき
町が崎

き した
しいの木の下
ほけたんぼ

ひよりやま
目白山

しばやまこうとうだい
柴山港灯台
(大山灯台)

おきのうら
沖 浦

きん せんに
近畿自然歩道

だいきよ谷
水尻
おおしま
大島

だに
いつき谷

かべ
いつきの壁

凡 例

- 黄色の道…広い道
(国・県道など)
- 白色の道…少し狭い道
(県・町道など)
- 灰色の道…細い道
(林道・登山道など)

ケーソン



しばやまガイドマップ

Guide Map

浦上



ききょうじ ぬぼとけ
帰仰寺の濡れ仏

めいじ 28 年に鋳造された青銅製の釈迦如来像です。外に安置されているため濡れ仏と呼ばれています。



しばやまこう
柴山港



だいみょうじんいわ
大明神岩

むかし かいがん はな かいちゅう いわ
昔は海岸から離れた海中にあり岩の
うえ えだ ふ りっ ぽ まつ
上に枝振りのいい立派な松がありま
した。現在はケーソン建設のため周
辺が埋め立てられています。

だいみょうじんいわ
大明神岩

うらがみかいがん
浦上海岸

うらがみばし
浦上橋

うらがみこうみんかん
浦上公民館

しばやまおんせん
柴山温泉

にゅうじんじや
丹生神社
こうばい
紅梅

しばやまえき
柴山駅

うらがみきょう
浦上橋りょう

あたごじんじや
愛宕神社

せきふつ
石仏

やきやまがわ
焼山川

きしべ ふくお きこう きねんひ
岸辺福雄揮毫の記念碑・
きしべざくら ひ しちいけがわきょう
岸辺桜の碑・下池川橋りょう

かへがわ
神戸川

かわむらすいけん うんが
河村瑞賢の運河



ほうきょういんと
宝篋印塔

1824年(文政6年)に峠を越える人の安全を願ってたてられました。

はなみとうげ
花見峠

はなみとうげ
花見峠トンネル

ほうきょういんと
宝篋印塔

ぼうくわかんしみはりあと
テンボの防空監視哨社

やさかじんじや
八坂神社

はちまんじんじや
八幡神社
しん きょく
椎の巨木

もりもとじんじや
森本神社
ほうきょういんと くらやう
宝篋印塔(供養塔)

しばやしょうがっこう
柴山小学校

しばやまようちえん
柴山幼稚園

ききょうあん ひがしのあん
帰仰庵(東ノ庵)

うし つぼ しんどう
牛が坪のご神燈

えんめいじそうどう にしのあん
延命地藏堂(西ノ庵)

あげ
上計ふれあい会館

しばやまちくこうみんかん
柴山地区公民館

あげはし
上計橋

しばやまこうぼし
柴山港橋

しばやまほいくしよ
柴山保育所

だに めいすい
あらもん谷の名水

ようざんじやうあと
養山城址
れんしょういんとひん ちゅうそんひ
蓮照院殿碑・忠魂碑
くやうどう とうぼうだいし あんぎやう
供養塔・弘法大師行脚像

しばやまこうゆうびんきよく
柴山港郵便局

ふなあげば
船揚場

しばやまガイドマップ
Guide Map

上 計

しばやまガイドマップ

Guide Map

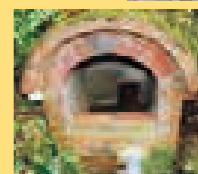
沖 浦

おおしま
大島

だいば こせき
台場の古跡

しばやまとうだい
柴山港灯台
(大山灯台)

おきのうらこうざんあと
沖浦鉦山跡
こがね まつ
町指定文化財 黄金の松



おきすい
沖水

おきのうら かわ かし みず こま
沖浦では川がないため、昔は水に困って
いました。水がいつでも使えるように水
がわいている場所に貯水槽を作ったため
たのが沖水です。

だいほうじんじや
大放神社
ろくじぞう
六地藏

だいばちどう
大目堂
ほうきょういんどう
宝篋印塔

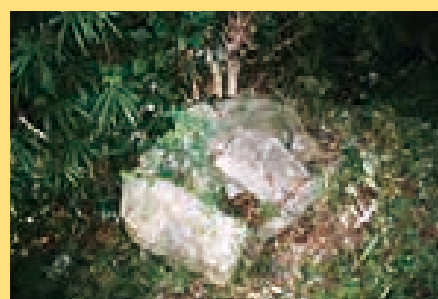
めいすいおきすい
名水沖水

おきのうらこうみんかん
沖浦区公民館

こばんしよあと
御番所跡

やま かみ ほとら
山の神の祠

←香住へ



はな こ ふん
つるべが鼻古墳

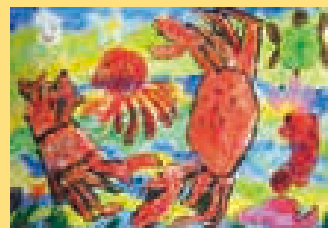
いま ねんごろまえ こ ふん じ だい
今から1400年頃前の古墳時代につく
られた昔の人のお墓。

はなこふん
つるべが鼻古墳

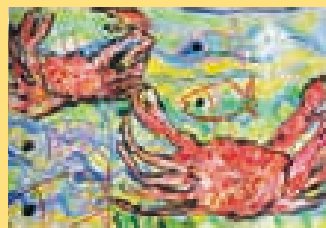
しばやまこうすいさんかこうぎようきやうどうくみあい
柴山港水産加工業協同組合
たじまぎやうきやうどうくみあいしばやましよ
但馬漁業協同組合柴山支所

柴山の産業

わたしたちのふるさと柴山は豊かな海の恵みにより育てられ漁業、加工、観光と一貫して栄える地域をつくってきました。ふるさとの先人たちが築いた地域の誇りを私たちも継いでいきましょう。



こばしちよ 小林幸代

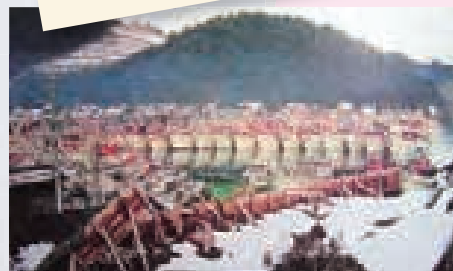


てらかわおうすけ 寺川旺佑



うらせいか 浦瀬怜香

すごい柴山
昭和40年(1965年)には自動イカ釣り機が整備されるようになり漁船の大型化も進み、昭和40年代後半にいかつり漁業のピークをおえしました。その頃には但馬にも200隻を超える沖合イカ釣り船がありました。



ひしめきあう沖合いかつり船 (昭和45年頃)



こにし ゆや 小西優耶

漁業

わかさわん 若狭湾からかれい延縄漁業が伝わったことが柴山の漁業のはじまりです。手繰網から焼玉発動機・

ディーゼル機関と機械化してたくさん魚が獲れるようになりました。しかし、魚を獲り過ぎたり外国の船が日本の近くで漁を始めたりするなど、魚が獲れなくなってきました。今後、資源の維持・回復に取り組んでいかなければなりません。

加工

山に囲まれた地域で風が吹かないため、魚の干物を一度にたくさん作ることができなかったのが魚がたくさん獲れても無駄にしていました。そこで1943年(昭和18年)に「兵庫県合同缶詰統制株式会社」ができたのが加工業のはじまりです。作られた製品は京阪神に出荷し、柴山の経済活性化の大きな力になりました。

消費

明治45年の山陰線開通当時は、柴山駅は開設されず柴山の人達はとても苦労していました。

30年にもわたる「柴山駅を作ろう!」という運動の末、1946年(昭和21年)に貨物専用の柴山駅ができました。(旅客用は翌年)

そのおかげで、鮮度のいい魚を列車で京阪神へ運ぶことができるようになりました。

昭和40年代には10万人を超える人達が列車を利用して柴山を訪れました。現在でも柴山の豊かな恵みを食べようと、多くの観光客がやってきます。

ぼくはこの柴山に住んでいて、ぼくのお父さんも加工場に勤めています。冬にはとても忙しくなるので、一番柴山が元気になる時期だと思います。

寺川 伶

カニ漁
カニは最初はミリでとても小さい。けれど、それから大きくなり11月始めに漁師さんたちによってカニがとられる。そして、そのときにカニの初売り祭りがあります。そこでカニ汁にしたり売ったりしている。その祭りがあると柴山はとても活気づく。

杉山和泰



カニ漁

柴山の暮らし

～柴山の年中行事～

わたしたちのふるさと柴山にはたくさんの伝統行事があります。それらは昔の人がいろいろな思いを込めながら行ってきたものです。行事に参加してその思いに触れてみましょう。

どんど【各区】

前夜に神仙に供えていた鏡餅・みかん・柿その他お飾りを一ヶ所にまとめてローソクをたて、お神酒を供えて準備します。当日は各区で定められた場所で書初めも燃やして送ります。灰になった紙型が高く揚がるほど字が上手になるといわれています。どんどの火で、鏡餅を焼いて頂くと健康で過ごせるという言い伝えもあります。

山の神【沖浦区・浦上区】

室町時代から続く伝統行事で一年の無病息災をお願いします。山の神は醜く嫉妬深い女神とされ子どもたちは女神の怒りに触れないように、顔中に墨を塗ってお参りします。それぞれ、御幣・しめ飾り・酒・めし・竹笹・しめ縄・ぞうり等を持ち、区の西南にある山の神へお供えし、後ろを振り向かず帰ってきます。



月	日	主な行事
1	4	お日待ち・初釜(上計)
6~10		山の神(沖浦)
7		どんど(浦上)
8		どんど(上計)
9		山の神(浦上)
9	前後	お日待ち(沖浦)
13		どんど(沖浦)
2	28	大日さん(沖浦)
5	7	厳島神社祭(沖浦)
8		花祭(沖浦)
6	10	しろめて(浦上)
7	7	八坂神社祭(上計)
23		愛宕祭(沖浦)
24		愛宕祭(浦上・上計)
8	13前後	盆踊り
23		地藏盆
24		養山城の施餓鬼

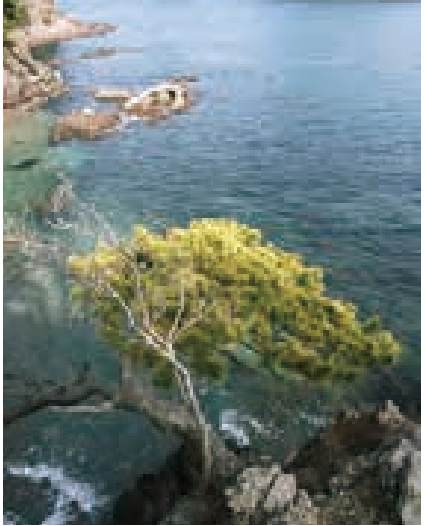
養山城の施餓鬼

城山で非業の死を遂げた長近公や戦争で亡くなった軍人、舟で死亡した人々を供養するため養山城施餓鬼が行われています。かつては在郷軍人会や上計青年会が主催していましたが、今では上計老人会のお世話によって継続されています。



沖浦三番叟【沖浦区】

大放神社の芝居堂で、秋の祭典で区の安全とみんなの健康を願って奉納されます。舞手方、歌手方、囃子方の三部から構成されています。踏子は中学生から今日では小学生へと変わっています。宵宮祭は10月6日、本祭は10月7日です。町指定無形民俗文化財。



黄金の松【沖浦区】

沖浦鉦山跡の海岸の岩の上に1本だけ生息していて、黒松の変異したものと思われま。種から育てたものは葉が黄色にならず、現在有志の方々が接木をした次世代の黄金の松を育てています。年中、黄金色の松葉で特に菜の花の咲くころが、一番美しい姿を見ることができます。町指定天然記念物。

月	日	主な行事
9	15	八幡さん(浦上)
10	6	宵宮祭(沖浦)
7		大放神社祭り・沖浦三番叟(沖浦)
		丹生神社祭(浦上)
		森本神社祭(上計)
11	7	弁天祭(上計)
8		おひたき(浦上)
13		恵比須神社祭(沖浦)



柴山の歴史

～柴山に残る祖先の暮らし～

わたしたちのふるさと柴山には太古から人々が生活を営んできました。豊かな自然に囲まれ生きてきた人々の暮らしを想像してみましょう。

北前船

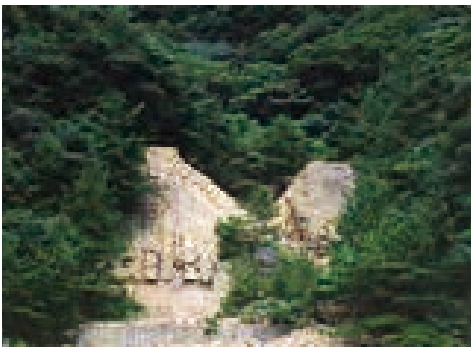
江戸時代、幕府は日本有数の米の生産地であった出羽国（今の山形と秋田のあたり）の米を江戸に運ぶためには海路が効率的なことから、東廻り航路の開発で実績のあった河村瑞賢に西廻り航路の設定を命じました。瑞賢は東廻りより、はるかに困難な西廻り航路の設定のために大きく貢献しました。この西廻り航路の中継地に選ばれた柴山は、北前船の寄港地として栄えました。



1,800年頃に書かれた地図には
沖浦御番所が描かれています
（「丹生澗図」豊岡市教育委員会提供）

沖浦鉱山跡

大正10年（1921年）に採掘がはじまりました。縦坑（垂直に掘り下げた坑道）と横坑があり、縦坑は上から順番に1階、2階…14階と14段階あって、それぞれの階から横坑が放射線状に伸びていました。坑の高さは人間が立って歩けるくらいの高さがある、手作業で掘り進んで行き落盤しないように、太い丸木で左右と上を支えていたそうです。なので、沖浦や付近の海底は穴だらけになっていると言われています。運搬船に鉱石（金、銀、銅）を積み込む作業に、各地区の大人のほか青年たちが資金稼ぎのために働くこともありました。廃山になるまでの21年間、沖浦地区はにぎわいを見せていました。



沖浦鉱山跡

時代	主な出来事
古代	つるべが鼻古墳がつくられる。 丹生神社建立。
中世	1530 かれい延縄漁業が伝授される。
近世	1664 御番所を沖浦に設置する。 1672 西廻り航路が開港され、寄港地として柴山港が指定される。
近代	1870 沖浦村で沖手繰網がはじまる。
	1875 上計村、浦上村を設置区域として、上計村に丹生小学校を開校。沖浦には芝山小学校が開校する。
	1885 経費の都合により、訓谷村の協純小学校丹生支校とする。
	1887 協純小学校を分離して、丹生簡易小学校と改称する。
	1889 町村制の施行により、7大字をもって口佐津村とし役場を訓谷に置く。
	1892 丹生尋常小学校と改称し、修業年限4年の尋常科を置き、沖浦村を 通学区域に編入、沖浦分教場を設置する。
	1900 沖浦分教場を廃止する。 上計尋常小学校と改称する。
	1901 沖浦に分教場を常設する。
	1907 口佐津第三尋常小学校と改称する。
	1908 柴山駅誘致運動がはじまる。
	1911 山陰鉄道東線香住まで開通する。 手繰網漁業が最盛期を迎える。
	1915 沖浦に発動機付き手繰り漁船・佐津丸一号ができる。
	1921 久原鉱業株により沖浦鉱山の採掘がはじまる。
	1924 口佐津第三尋常高等小学校と改称する。
	1930 沖浦鉱山が最盛期を迎える。
	1931 柴山隧道開通。
	1942 沖浦鉱山が廃山する。
	1947 柴山駅ができる。柴山小学校と改称する。
	1948 柴山郵便局が開業する。
	1952 柴山幼稚園が併設される。
	1954 柴山港が運輸省により避難港として指定される。
	1959 柴山小学校、現在の場所に移転。
	1960 柴山郵便局を柴山港郵便局と改称。
	1973 国道178号（現在は県道11号線）柴山トンネル新規に完成する。
	1976 柴山地区公民館ができる。（上計公会堂跡）
	1982 第一回柴山港カニ祭りを開く。
	1998 旧ふれあい会館ができる。（診療所を改造）



移転前の小学校



学校名

学年

年 名前

—— 2012 年 2 月発行 ——

編集：柴山ふるさと教育応援団

発行：香美町教育委員会、学校支援地域本部香美町実行委員会、香美町ふるさと教育推進委員会